

## なまもろーど

The Name Road

ホームページアドレス  
http://www.ranshokai.jpE-mailアドレス  
info@ranshokai.jp発行所 高岡教区寺族青年会  
住所 〒933-0878  
高岡市東上関466  
西本願寺高岡会館内  
発行人 清水 了涉  
編集者 広報部  
発行日 2014年3月31日

## 巻頭言

鸞翔会

第二十代会長 清水 了涉



日頃より寺族青年会の活動に多大なご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

今年度の活動は、連研で「憲法改正」、実践運動研修会で「過去帳及びこれに類する帳簿の開示問題」について学び、「ねっと輪く」で福祉作業所の方々との交流を深めてきました。その他、東日本震災ボランティア活動や、教区の災害対策委員会等の活動に参加してまいりました。

平成二十六年三月十一日で東日本震災から丸三年となるのですが、テレビの報道など、震災の情報が少なくなってきたように感じられます。

しかしながら、東北に実際行ってみると東日本震災の爪痕はまだまだ残っています。決して復興されたわけではありません。その中でも、教区のホームステイ事業や、年末の福島での飯館村の仮設住宅での餅つき等に参加協力して、現地の方とふれあえばふれあうほど福島とその他の地域では大きな差があるように感じます。福島では特に原発の問題が大きいです。この問題は、個人の力では大きく変わることはないでしょう。また個人でできることも限界があります。しかし、ボランティアを続けていくこと、そして東日本震災を忘れないということが大切な事だと思えます。来年度以降も会としてもボランティア活動を続けていきたいと思えます。

その一方で、会としての活動が盛り上がってきていないということも感じています。先に挙げたボランティアやサークル活動等は、活発に行われていると思えます。昨年度にはフットサルが新たにサークルとして増えました。しかし、連研・実践運動研修会等の研修会の参加が少なかったことや、参加する人が固定されつつあることも問題だと思えます。それぞれ事情もあると思いますが、会員の交流をするなど、親睦を深めるイベント等を行っていききたいと思います。今年度は、法灯継承式が行われ、お代替わりされます。次の世代へと受け継がれていくのです。多くの方に支えられ受け継がれてきた鸞翔会も、二〇一五年には寺族青年会発足四十周年という節目の年を迎えます。私もそうですが親子で会に所属したという方も増えてきました。代々つながってきた鸞翔会が、これからはますます発展するように会員がそれぞれに考えて行動していくことが必要だと思えます。

来年度は第二十回ターナ・バザーの開催も予定しております。今後とも変わらぬご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

# ねっと輪くくニ〇一三

平成二十五年九月一日

数井 洋恵

昨年九月一日に西本願寺高岡会館で「ねっと輪くく」が行われました。高岡教区の寺族青年会と福祉作業所の方々と交流の場である「ねっと輪くく」は隔年ごとに開かれており、私は手話サークルの一員として初めて参加しました。会場では作業所の方々が作られたストラップやブックカバーや鍋敷



など、様々な物品の販売がされていてとても賑やかな雰囲気でした。



はじめに、声明サークルの皆さんの『広文類作法』のお勤めがありました。私は初めて耳にするお経だったのでとても興味深かったです。その後は寺青の役員の方々によるゲームがありました。動物

の名前のビンゴゲームや紙コップを使ってタワーを作る遊びなどをして、小さいお子さんもとても楽しんでいらっしかったです。私たち手話サークルは、簡単な手話クイズと、NHKの東日本大震災復興支援ソングになっている『花は咲く』を手話を交えながら歌いました。繰り返し出てくるサビの部分会場の方々と練習して、一緒に歌いました。長い間練習したので、皆さん積極的に参加して下

さってとても嬉しかったです。私事ですが、十ヶ月の息子も一緒に参加させて頂きました。子供向けの行事としては、「仏の子どものつどい」などがありますが、乳幼児はまだ参加が難しいと思います。「ねっと輪くく」は座談会のような雰囲気も持ち合わせているので、そういったお子さんをお持ちの会員の方々も、参加して頂けたらもっと楽しいだろうなと思いました。

## 第6回 東日本大震災ボランティア活動報告

平成二十五年九月十八日〜二十日

水上 賢志

九月十八日から二十日にかけて、宮城県にてボランティア活動を行いました。寺青としては、六回目となる東日本大震災ボランティア活動となります。

初日は閑上地区の除草活動を行い、二日目には若林区にて庭の流

入物撤去作業、草むしり、土壁の設置作業などを行いました。私自身、約一年ぶりとなる仙台でのボランティア活動でした。復興への歩みは少しずつですが、確実に進んでいる事を肌で感じる事が出来ました。ですが、まだまだ

多くの問題が山積していることも  
 知りました。閑上では、地区の役  
 員の方からお話を伺う事が出来た  
 が、離れ離れになってしまった住  
 民をどうしたら戻ってもらえるか  
 に頭を悩ましておられました。ま  
 た、今でも津波の恐怖から立ち直  
 れない人も多くおられ、これから  
 は心のケアが重要になっていくの  
 ではないかと思えます。

今回の活動の中で、特に印象に



残ったのが二日目の作業を行った  
 住人との会話です。この方は、五  
 十代の男性で、本当に元気に明る  
 く私たちを迎えてくれました。休  
 憩になると必ず飲み物などを差し



入れてくれ、「どこから来たの？  
 無理しないでね」など優しく話か  
 けてもらいました。そして「あん  
 まり頑張って作業しないでね。お  
 願いする事がなくなったらボラン  
 ティアの人に来てもらえなくなっ

て寂しいから・・・」と仰ってお  
 られました。周りの家は、まだ避難  
 中で夜になると辺りは真っ暗で物  
 音もしなくなり、家で一人過ごす  
 のは大変寂しい。ボランティアに  
 来た人と話すことが何より今は楽  
 しみなのだそうです。

心のケアと言うと、つい大げさ  
 に考えてしまいがちですが、ただ  
 そこに行っ、お話をするだけで  
 も良いのではないかと思いま  
 した。

私自身次回は、いつ仙台に行け  
 るかは分かりません。もしかした  
 ら、もうボランティアとして参加  
 は出来ないかもしれない。そんな  
 中で、これからも継続した支援活  
 動が重要であると簡単には言えま  
 せんが、僅かでも復興への道に寄  
 り添っていただけるように、常に目と  
 心だけは被災地に向けていきたい。

**第一回連研**  
 平成二十五年九月二十七日  
 楠 北斗

二〇一三年度の第一回連研は、  
 「憲法改正について」というテー  
 マで九月二十七日に西本願寺高岡  
 会館において開催されました。テ  
 レビや新聞などで憲法改正への動  
 きが大きく取り上げられ、国民の  
 関心を集めています。そこで今回  
 の連研では、憲法改正についてど  
 う変えようとする動きがあって何  
 が問題であるのかということや私  
 自身はどう考えるのかを学び・話  
 し合い、理解を深めることを目的  
 としています。

一口に憲法と言っても内容は  
 膨大なので、まず六名が調べた内  
 容を発表する事によって問題の  
 全体像を把握し、話し合い法座に  
 よって理解を深め、最後に班別発  
 表を行うという形式で研修を行い

ました。

憲法改正という出来事に対して僧侶としてどのように向き合っていくべきかを考える時、どうしてもある程度は憲法の歴史や内容について知っておかなければいけないと言えます。研修を通じて憲法改正そのものを規定している九十六条、戦争の放棄や平和と深く関係する九条の解釈、人権の保障や制限への懸念など、今までぼんやりとイメージしていた憲法改正の問題点を詳しく知る事が出来ました。

話し合い法座における基本姿勢でもあるのですが、意見や立場の異なる相手の考えを偏見無く聞き理解することが大切かと思えます。特にこの憲法改正については歴史があるだけに問題が深く内容が多岐に渡るのです、これらを念頭に置きつつ相手の立場や関心に注意を払いながら話を交わす必要性があると感じました。

# 「過去帳及びこれに類する帳簿の開示問題について」

平成二十五年十二月十五日

川岸 雅紀



平成二十五年十二月十五日、西本願寺高岡会館におきまして、「過去帳及びこれに類する帳簿の開示問題について」をテーマとして、参加人数は少ないながらも、真剣に話し合われました。参加人数の少なさは、この問題について無関心であったのか、難しそうだと思われたのを反映した形かなと私は思いました。

問題提起が寺青会員の岡西好持さんよりおこされますと、今やこの問題は私たちもよく学んでおかないと意外な「落とし穴」に落ちてしまうなど思いました。某人気番組の取材を快く受けていた住職さんと坊守さんでしたが、無警戒に帳簿を開示してしまった為にこの問題は起こりました。しかし、よく考えてみますと、今後我々寺院にとってしっかりと向き合わなければならぬ問題だと思います。

代社会において、「情報屋」が狙う個人情報の宝庫とも言える書類の数々、これがお寺には有るので、宗門が定めた「過去帳又はこれに類する帳簿の取り扱い基準」をしっかりと守り、又、研修会などで、「情報屋」の存在について話し合うのも有効だと私は思います。知らないがゆえに、無自覚の内に身元調査という差別に加担してしまう、それが指摘された私たちの「落とし穴」です。

まずは何よりこの問題を知ること、問題意識を持つことが、差別克服のための大きな一歩になるのだと学びました。ご講師の浜野信宏さん、岡西好持さん、貴重な機会をありがとうございました。



# 浄青僧本山大会

平成二十六年一月二十日

青木哲隆

一月二十日、北海道教区主催の浄土真宗青年僧侶連絡協議会（浄青僧）本大会に参加してきました。高岡教区からは五名の参加でした。

今年も、御影堂で参拝し、新門様からお言葉をいただいた後、講演会がありました。今回の講演は、東北教区相馬組の藤井賢誠先生のお話をお聞きしました。講題は「福島の実状」です。

藤井先生のお寺は、福島第一原発のすぐそばに位置しています。

写真を使って、震災当時の事、現在の事、これからの事をお話ししました。

最も印象に残った話として先生は私たち参加者に三つのお願いをされました。「関心を持ってください」「考えてください」「仏法にたづねてください」というものでした。震災から三年が経過し、確かに風化が進んでいるのは感じるところであります。

先生のお話を聞きながら、年末に飯館村の方々が避難してお

られる仮設住宅で、もちつきをしてきた時のことを思い出しました。福島市の吉倉宿舎に避難しておられる、飯館村長泥地区の自治会長さんのことです。

これまでの支援活動を通じて何度かお会いさせていただいておりましたが、いつも明るい自治会長さんが初めて涙ながらにお話をされたのです。

三年を迎える今、放射能の影響、補償金の問題、今後の生活、離散せざるをえなかった村民や家族の事、忘れることのできない故郷のことを話してくださいました。現在も避難されて故郷に帰ることのできない方々に、新しい不安や悲しみ苦しみ日々生まれているのです。

私に何ができるのか？  
自治会長さんの涙と、藤井先生の三つのお願いを心に刻み、これからも鸞翔会、高岡教区の震災支援活動に出来る限り参加させていただこうと思います。





## フットサル

代表 水上 賢志

フットサルサークルでは、砺波市内の体育館において月一〜二回程度のペースで練習を行っています。昨年十月四日に参加した福岡での浄青僧フットサル全国大会においては、残念ながら連覇とはならず、五位入賞となんとも中途半端な結果となり悔しい思いをしました。

今年度は、東京にて全国大会が行われる予定（詳細は未定）です。今度こそ、満足のできる結果を残すべく、モチベーションアップして練習を重ねていきたいと思っております。

新たなメンバーも募集中です。試合はともかく、少し体を動かしたいだけなのけど・・・という方でも結構です。運動不足の解消、ダイエットにもなりますよ。（私も痩せる事ができました）  
初心者も大歓迎！というか、参

## 声明サークル

代表 岡田 覚

加者のほとんどは初心者なので、興味のある方はお気軽にご参加下さい。また不定期で練習後の懇親会も行っています。こちらだけの参加もOKです。日程等、詳しい事は水上までお問い合わせください。よろしくお願ひします。

声明サークルでは、一年を通じて月二回程度のペースで声明の練習を行っています。

今年度も、七月の「井波別院特別永代経」へ向けての練習からスタートしました。今回はあまり披露する機会のない『広文類作法』を勤めました。例年のごとく出勤メンバーが揃って練習できる回数は少なかつたものの、無事に勤めることができました。

そして、十一月に西本願寺高岡会館で行われた「親鸞聖人を語る夕べ」の音楽法要には、寺青OBを含む四名が結果として参加しました。こちらは三年連続となる『宗祖讃仰作法』の音楽法要を勤めました。

通常の声明練習はリクエスト主体で、基礎から実践練習まで幅広く対応しております。来年度も様々なシーンに合わせて、声明サークルを活用していただけたらと思っています。どうぞ気軽にご参加ください。

## 手話サークル

代表 射水 梓

手話サークルでは昨年度に引き続き今年度も、ろう者劇団「おんによる座」の脇坂菊雄さんをご講師に迎え、年間を通して月に一回程度のペースで活動を行ってききました。

主な活動内容としては、脇坂さんにご指導いただきながら、雑談の中から手話を学んだり、サークル員の方のリクエストを受けて様々な手話コーラスの練習をしたりしてきました。

また、昨年の九月には「ねっと輪くく」で『花は咲く』の手話コーラスを披露する機会を頂き、日ごろの練習の成果を発揮できたのではないかと思います。

現在は、さだまさしさんが法然上人八百年大遠忌にあたり、浄土宗より依頼を受け制作された『いのちの理由』の手話を皆で考えて、コーラスの練習を始めようとしています。

来年度も、引き続き皆さんに手話に興味をもっていただけるよう、サークル員が増えるように考えながら皆で手話の勉強を続けて行ければ良いなあと思っています。

そして手話に少しでも興味を持たれた方は、お気軽に練習にご参加下さい。お待ちしております。

## 蓮花の会

代表 北鹿渡 有子

蓮花の会では会員がやってみたと考えたことを研修会で行っています。

七月には写経を行いました。讃仏偈に挑戦し、皆さん最後まで書き上げておられました。企画した私は、参加していただいたことや一生懸命取り組んでおられる姿が本当に嬉しく心に残りました。写経は心が落ち着いて達成感があり、とても有意義な時間でした。

九月には寺族青年会の行事である「ねっと輪くく」に参加しました。前日の会場設営から参加し、当日は多くの方と交流でき、楽しく勉強になり、良い機会をいただいたと思っています。

私は、蓮花の会が皆さんに参加していただけて初めて成り立つということに改めて気づき、いつも助けられているのだなと感謝しています。

また最近では、参加される方が少ないのでさみしく感じています。皆さんお仕事やご家庭の事情などいろいろご都合はあると思いますが、寺院女性としての共通の課題や悩みもあると思います。研修会だけでなく、気軽に楽しく情報交換できる場ももうけたいと思っていますので、会員の方また興味をお持ちいただいた方、ぜひ一度お気軽に参加してみてくださいね。お待ちしております。

## 第二十六期収益事業

(法輪せんべい販売)

耳 浦 康 真

今期の法輪せんべい販売は、年々収益が減る中で、なるべく収益が上がるように寺青の役員会などで考えながら始まりました。その中で気を付けたことが、売り切れ、在庫切れが無いようにすることでした。しかし、今期も前期よりも収益が少ないという結果になってしまいました。その一番大きな理由として、今期中でのせんべいの仕入れ値の値上がりでした。これは、原料の小麦粉の値上がりが続いていることと、せんべいを作る機械を動かすための燃料費の高騰によるものであり、そのことによりせんべいの売値は変わらないので収益が少なく、苦しい状況が半年ほど続きました。

来期からは値上げも決まり、少しでも収益を上げたいと思います。そのためには、いつも買っていた皆様さんの協力が必要です。今回の値上げも皆様さんにはご理解をいただき、これからも法輪せんべいをよろしく願います。



## 新入会員紹介

新入会員の方にインタビューしました。

- ① 趣味または特技は？
- ② 苦手なものは？
- ③ 何か一言



糸岡組 法信寺  
奥高 瑞貴さん

- ① サッカー・体を動かす事。
- ② 沢山あります…
- ③ まだまだ勉強不足ですが、よろしく願います。

## 新入会員募集

高岡教区寺族青年会では随時新入会員を募集しています。  
気軽に参加しませんか。



<http://www.ranshokai.jp>

ホームページ  
随時更新中!!

## 法輪せんべいのご案内

法輪せんべいは、当会が販売する法輪マークと法語が印された一袋二枚入りのおいしいせんべいです。ご法要のお供えにお茶受けやご贈答などに幅広くご利用いただけます。（※表示してある価格は、いずれも販売価格です。）



パッケージはサクラと若草色の二色です。



写真上は大箱（36袋入り）2,300円

品目	袋数	価格
特大	170	8,300円
大箱	36	2,300円
1組	10	500円

お申し込み、お問い合わせは

〒933-0003 高岡市能町1298 本誓寺内

耳浦 康真まで ☎/FAX (0766) 23-9822

会報である「なまもろーど」と「なあもどろ」は、会員の皆さんに執筆していただいた記事によって作られています。執筆者の方々にはお忙しい中でも快く依頼を受けてくださり、本当にありがとうございます。会員の皆さんには来年度も様々な面でお願ひさせていただくと思います。どうぞご協力よろしくお願ひいたします。

清水新会長の体制になって、早いもので一年が経とうとしています。思い返すと、広報部長として十分な仕事ができず、来年度に向け気持ちを新たにしているところです。今年度も鸞翔会においては様々な活動が行われました。またそれぞれのサークルにおいても、現在熱心に活動が行われています。できる限りその一つ一つを、会員の皆さんに紹介させていただきたいのですが、それがまさに広報部としての来年度の課題と考えています。

